

栃木県わがまち未来創造事業計画書(市町総括表)  
 (単独・連携事業)

市町名	宇都宮市
-----	------

(単位:円)

No.	単事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	フェスタmy宇都宮			6,269,530	6,247,289	6,585,000	19,101,819
	総事業費			6,269,530	6,247,289	6,585,000	19,101,819
	うち市町支出額			4,750,000	4,750,000	4,750,000	14,250,000
	うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
2	宇都宮ウオーキングフェスタ		2,223,990	3,102,865	2,886,989	2,694,000	10,917,844
	総事業費		2,223,990	3,102,865	2,886,989	2,694,000	10,917,844
	うち市町支出額		1,200,000	1,700,000	1,700,000	1,400,000	6,000,000
	うち県交付金		600,000	850,000	850,000		2,300,000
3	フェスタin大谷実行委員会交付金事業	4,124,531	3,692,551	3,485,347	2,073,320	4,000,000	17,375,749
	総事業費	4,124,531	3,692,551	3,485,347	2,073,320	4,000,000	17,375,749
	うち市町支出額	3,000,000	3,000,000	3,000,000	1,870,293	3,000,000	13,870,293
	うち県交付金	0	1,000,000	1,000,000	935,146	0	2,935,146
4	うつのみや食育フェア実行委員会交付金事業	7,235,273	6,946,726	7,600,514	6,667,185	6,575,685	35,025,383
	総事業費	7,235,273	6,946,726	7,600,514	6,667,185	6,575,685	35,025,383
	うち市町支出額	6,347,000	6,075,000	6,619,540	5,755,000	5,755,000	30,551,540
	うち県交付金	0	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
5	宮っこフェスタ2019	3,735,351	3,710,436	3,710,631	3,673,021	4,808,620	19,638,059
	総事業費	3,735,351	3,710,436	3,710,631	3,673,021	4,808,620	19,638,059
	うち市町支出額	2,527,000	2,527,000	2,527,000	2,527,000	3,600,000	13,708,000
	うち県交付金	0	0	0	1,283,500	1,736,500	3,000,000
6	未来につなげよう～わたしたちのまちプロジェクト				1,466,091	300,000	1,766,091
	総事業費				1,466,091	300,000	1,766,091
	うち市町支出額				500,000		500,000
	うち県交付金				250,000		250,000
7	「旧仮本陣戸谷家」を活用したまちづくりの拠点化事業				641,801	100,000	741,801
	総事業費				641,801	100,000	741,801
	うち市町支出額				500,000		500,000
	うち県交付金				250,000		250,000
8	「わがまち西原」魅力発見事業				699,895	580,000	1,249,895
	総事業費				699,895	580,000	1,249,895
	うち市町支出額				500,000		500,000
	うち県交付金				250,000		250,000
9	東地域「花のゆりかごみどりのさとおや」事業				699,443	65,000	734,443
	総事業費				699,443	65,000	734,443
	うち市町支出額				500,000		500,000
	うち県交付金				250,000		250,000
10	峰地区みんなの夢実現事業				562,463	350,000	912,463
	総事業費				562,463	350,000	912,463
	うち市町支出額				500,000		500,000
	うち県交付金				250,000		250,000
11	陽光太鼓を活用したまちづくり推進事業				500,312	80,000	580,312
	総事業費				500,312	80,000	580,312
	うち市町支出額				400,000		400,000
	うち県交付金				200,000		200,000
12	花いっぱい地域魅力創出事業	0	0	500,000	50,000	50,000	600,000
	総事業費	0	0	500,000	50,000	50,000	600,000
	うち市町支出額	0	0	400,000			400,000
	うち県交付金	0	0	200,000			200,000
13	「豊郷まほろばの道」歩け歩け大会～蒲生君平生麗250年記念事業～	178,746	175,092	340,075	149,000	149,000	991,913
	総事業費	178,746	175,092	340,075	149,000	149,000	991,913
	うち市町支出額	0	0	196,000			196,000
	うち県交付金	0	0	98,000			98,000
14	東地区魅力創出事業	0	0	771,534	350,000	350,000	1,471,534
	総事業費	0	0	771,534	350,000	350,000	1,471,534
	うち市町支出額	0	0	500,000			500,000
	うち県交付金	0	0	250,000			250,000
15	歴史的文化資源を活用したまちづくり推進事業	0	0	689,876	80,000	80,000	849,876
	総事業費	0	0	689,876	80,000	80,000	849,876
	うち市町支出額	0	0	500,000			500,000
	うち県交付金	0	0	250,000			250,000
16	河内の宝物と人の交流事業		628,908	800,000	800,000	800,000	3,028,908
	総事業費		628,908	800,000	800,000	800,000	3,028,908
	うち市町支出額		500,000				500,000
	うち県交付金		250,000				250,000
17	「豊郷まほろばの道」魅力発信事業		529,315	144,075	51,000	51,000	775,390
	総事業費		529,315	144,075	51,000	51,000	775,390
	うち市町支出額		400,000				400,000
	うち県交付金		200,000				200,000
18	「梵天の里上河内」魅力発信事業		632,202	222,000	222,000	222,000	1,298,202
	総事業費		632,202	222,000	222,000	222,000	1,298,202
	うち市町支出額		500,000				500,000
	うち県交付金		250,000				250,000
19	城山ウェルカムフラワー「花いっぱい運動」推進事業		626,045	100,000	100,000	100,000	926,045
	総事業費		626,045	100,000	100,000	100,000	926,045
	うち市町支出額		500,000				500,000
	うち県交付金		250,000				250,000
20	鬼怒川グルメフェスティバル・新米まつり		768,715	504,600	504,600	504,600	2,282,515
	総事業費		768,715	504,600	504,600	504,600	2,282,515
	うち市町支出額		500,000				500,000
	うち県交付金		250,000				250,000
21	ミヤ・ジャズイン事業				6,023,930	6,454,504	12,908,008
	総事業費				6,023,930	6,454,504	12,908,008
	うち市町支出額				1,000,000	1,000,000	2,000,000
	うち県交付金				500,000	500,000	1,000,000
市町計	総事業費	15,273,901	19,933,980	28,241,047	34,398,139	34,899,409	133,177,050
	うち市町支出額	11,874,000	15,202,000	20,192,540	20,502,293	19,505,000	87,275,833
	うち県交付金	0	2,800,000	4,648,000	6,998,646	4,236,500	18,683,146

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	フェスタmy宇都宮
事業主体の名称	宇都宮市民憲章推進協議会
代表者の名称	鎌倉 三郎
事業主体の所在	宇都宮市旭1丁目1番5号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:宇都宮市民憲章を啓発推進し、「心のかよいう人間性豊かなまち宇都宮」の建設に寄与する。</li> <li>・設立年月日:昭和56年2月25日</li> <li>・構成員等:市内185の市民団体</li> <li>・市民憲章を更に普及啓発するため、これまで提唱事業として協力してきた「フェスタmy宇都宮」等を実施する「宇都宮市民の日実行委員会」と平成26年3月に組織一体化した。</li> <li>・普及啓発事業:「フェスタmy宇都宮」「宇都宮ウオーキングフェスタ」</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本事業は今年で開催32回目を迎え、毎年5万人以上が来場する、春を代表する本市のイベントとして定着しているが、イベント来場者へのアンケート調査では、会場が離れていることから移動が大変であるという意見が多く、効率的な移動方法等の検討が必要である。</p> <p>また、中心市街地の賑わいが戻りつつあるが、今後更なる活力の維持を図るため、市民活動団体や企業も含めたつながりを持つことで、まちづくりの相乗効果を生み出す必要がある。</p>
事業目的	<p>市民憲章を具現化し、心豊かな宇都宮市を創造することを期する日として「市民の日」が制定されたことに伴い、フェスタmy宇都宮は4月1日の「市民の日」を記念し、市民憲章にある「明るく、楽しく、美しいまちづくり」を推進するため、市民が自由な発想で事業に参加し、工夫を凝らしながらまちづくりや郷土愛、コミュニティ意識を醸成することを目的として実施するもの。</p>
事業概要	<p>郷土愛や地域コミュニティ意識の醸成、市民活動団体等の繋がり拡大のため、「フェスタmy宇都宮2019」を実施した。</p> <p>【開催日時、場所】平成31年5月19日(日) 宇都宮市中心市街地5会場 (宇都宮城址公園、オリオンスクエア、パンパひろば、中央市民活動センター、まちかど広場)</p> <p>【内容】約190の参加団体によるブース出展や、歌や踊り等のステージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場各所のチェックポイントを巡るスタンプラリーの実施。</li> <li>・本市出身のスラックライン選手「須藤美青さん」による世界No.1のパフォーマンスや一般の方へのスラックライン</li> </ul> <p>体験のほか、新規企画として、ものづくりや体を動かす遊びなどを集めた「子どもの広場」を実施した。</p> <p>【翌年度以降の取り組み】</p> <p>事業の実施主体である市民の日実行委員会の組織のあり方や事業内容等は必要に応じて見直しが必要であるが、市民総参加型の事業として重要であることから、今後も継続して実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標2:人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る</li> <li>・基本施策・市民協働によるまちづくりの推進。</li> <li>・KPI:自治会加入世帯数 H27.4 147,810世帯 → H31 148, 810世帯</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	フェスタmy宇都宮2018	フェスタmy宇都宮2019	フェスタmy宇都宮2020		フェスタmy宇都宮2021
事業費	6,269,530	6,247,289	6,585,000	19,101,819	6,585,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,750,000	4,750,000	4,750,000	14,250,000	4,750,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,519,530	1,497,289	1,835,000	4,851,819	1,835,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	みんなでまちづくり課
担当者名	岩崎 光祐
電話	028-632-2288
連絡先 FAX	028-632-3268
E-mail	u2207@city.utsunomiya.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	フェスタmy宇都宮	
対象年度	31	年度

## 1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	4,750,000	
参加負担金	596,400	
事業協賛金	900,000	
協議会繰越金	889	
計	6,247,289	

## 2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	149,032			149,032	
印刷製本費	612,198			612,198	パンフレット, ポスター
通信運搬費	60,000			60,000	郵送料
広告料	125,280			125,280	開催告知
保険料	30,000			30,000	傷害・賠償保険料等
委託料	5,021,912	4,750,000	1,000,000	271,912	会場設営, 警備
使用料	54,344			54,344	携帯電話使用料, クリーニング代等
備品購入費	0			0	
報償費	142,000			142,000	謝礼金等
食糧費	52,523			52,523	運営委員昼食代
工事請負費	0			0	
計	6,247,289	4,750,000	1,000,000	1,497,289	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	宇都宮ウオーキングフェスタ
事業主体の名称	宇都宮市民憲章推進協議会
代表者の名称	鎌倉 三郎
事業主体の所在	宇都宮市旭1丁目1番5号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的 : 宇都宮市民憲章を啓発推進し、「心のかよいあう人間性豊かなまち宇都宮」の建設に寄与する。</li> <li>・設立年月日 : 昭和56年2月25日</li> <li>・構成員等 : 市内185の市民団体</li> <li>・普及啓発事業: 「フェスタmy宇都宮」「宇都宮ウオーキングフェスタ」</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	今年で開催25回目となり、継続して開催してきたことで秋のイベントとして市民に定着してきており、ウオーキングを通じた健康づくりが市民に浸透しつつあるが、近年の参加者数は横ばいとなっており、今後、参加者数を増やすための工夫が必要である。また、公道がコースとなっていることから、コース上における参加者の安全の確保が課題となっている。
事業目的	市民憲章で掲げている「健康で、心のふれあう明るいまち」の具現化に向け、恵まれた自然と豊かな文化にふれあい人とひととの交流を深めること、歩くことの楽しさと心と体のバランスのとれた健康づくりをすすめること、いつでもどこでも気軽に楽しめる生涯スポーツを推進することを目的に開催するもの。
事業概要	<p>当該年度</p> <p>【開催日時、場所】 平成31年10月27日(日) 宇都宮市中心市街地(会場:宇都宮城址公園)</p> <p>【内容】: 中心市街地を回遊する3コースにより開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数2,000人</li> <li>・記念グッズやドリンクサービスの提供</li> <li>・参加者が安心して参加できるよう安全面を考慮したコースを設定</li> <li>・市内外へ周知できるよう広報の強化、配置スタッフの増員や警備の強化に努める</li> <li>・配置スタッフ増員には、若者のボランティア意識向上も兼ね、高校生・中学生などのボランティア募集なども実施した</li> </ul> <p>【翌年度以降の取り組み】 新たな本市の魅力を発信できるコース設定による開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標: 市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する</li> <li>・基本施策・具体的な事業: 高齢者になっても健康で自立した生活が送れる社会の実現、地域の健康づくり実践活動の推進。</li> <li>・KPI: 健康寿命 H22 男性78.47才 女性83.16才 → H30 平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の増加</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	宇都宮ウオーキングフェスタ2017	宇都宮ウオーキングフェスタ2018	宇都宮ウオーキングフェスタ2019	/	宇都宮ウオーキングフェスタ2020
事業費	2,223,990	3,102,865	2,896,989	8,223,844	2,694,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,200,000	1,700,000	1,700,000	4,600,000	1,400,000
うち県交付金	600,000	850,000	850,000	2,300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,023,990	1,402,865	1,196,989	3,623,844	1,294,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	みんなでまちづくり課
担当者名	小林 未侑
電話	028-632-2288
FAX	028-632-3268
E-mail	u2207@city.utsunomiya.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	宇都宮ウオーキングフェスタ	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	1,700,000	
参加負担金	940,200	参加者の参加負担金 @800×759人(事前申込), 1,000×333人(当日申込)
事業協賛金	250,000	歩け歩け大会への事業協賛金 9社程度
物品売上金	5,700	記念バッジ等の売り上げ
協議会繰越金	1,089	
計	2,896,989	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	10,000	0	0	10,000	交通指導員謝礼金
印刷製本費	576,281	360,000	180,000	216,281	周知パンフ, ポスター: 360,000 ゼッケン:142,560 コースマップ:57,240 完歩証:22,572 写真現像 費目存置
修繕料	0	0	0	0	
広告費	125,480	100,000	50,000	25,480	新聞広告掲載料
使用料	68,777	0	0	68,777	携帯電話使用料
手数料	3,000	0	0	3,000	振込手数料, クリーニング代等
消耗品費	176,463	0	0	176,463	事務用品(ペン類)事業用品 (PPロープ, トイレトペー 会場設営, 警備, バッジ作 成, 備品作成等)
委託料	1,246,300	1,240,000	620,000	6,300	参加証の郵送費等
通信運搬費	149,988	0	0	149,988	参加者の保険料
保険料	48,078	0	0	48,078	
食糧費	162,388	0	0	162,388	支援団体等への昼食代 参加者配布用菓子代 費目存置
燃料費	0	0	0	0	
備品購入費	270,234	0	0	270,234	費目存置
負担金	60,000	0	0	60,000	社団法人日本ウオーキング 協会負担金等
計	2,896,989	1,700,000	850,000	1,196,989	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市 町 名	宇都宮市
事 業 名	フェスタin大谷実行委員会交付金事業
事業主体の名称	フェスタin大谷実行委員会
代表者の名称	フェスタin大谷実行委員会 委員長 石下 光良
事業主体の所在	〒321-0345 宇都宮市大谷町1075番地 大谷石材協同組合内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:フェスタin大谷を推進し、「石の里・大谷」を中心とする城山地区の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成16年7月8日</p> <p>・構成員等:別紙名簿のとおり</p> <p>・台風19号により中止</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>地域の特徴・現状: 大谷石の産地であり、本市の唯一の観光地でもある大谷地区において、平成元年の陥没事故以降、東日本大震災発生等により、平成24年度までは大谷への観光客は減少傾向にあったが、平成23年度より休業していた大谷資料館において、平成25年4月からの開館に伴い、メディアへの露出が増えたことにより、観光客が増加に転じており、現在も増加傾向にある。</p> <p>地域の課題・解決策: 現状での増加の背景は大谷資料館などを一部の施設を目的とした観光客が多いため、主にスポットで完結してしまう点での観光となっており、滞在時間が短く、回遊性も低い。経済効果薄い状況にある。今後は、観光客が様々な施設を回遊し、滞在時間の延長、回遊性の向上により高い経済効果を生むような、面での観光客へのシフトを促すイベント実施を検討している。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>大谷地域の活性化を促すとともに、「石の里・大谷」の魅力県内外に向けて広くPRし、誘客を図ることで、「大谷」のみならず城山地区全体の観光振興を図るもの。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>・当該年度の実施内容</p> <p>1 趣 旨 地元住民が主体となったフェスタin大谷実行委員会が、大谷地域の魅力的な岩肌景観や歴史、文化等の特性を活かした「フェスタin大谷」を開催することにより、大谷地域の活性化を促すとともに、「石の里・大谷」の魅力県内外に向けて広くPRし、誘客を図ることで、「大谷」のみならず城山地区全体の観光振興を図るもの。</p> <p>2 主 催 フェスタin大谷実行委員会 実行委員長 石下 光良 所 在 地:宇都宮市大谷町1075番地 大谷石材協同組合内 電話番号:028-652-0924</p> <p>3 後 援(予 定) 宇都宮市、宇都宮商工会議所、宇都宮観光コンベンション協会、下野新聞社、栃木放送、エフエム栃木、とちぎテレビ、タウン情報もんみや、栃木リビング新聞社、生活応援情報マガジン/トチベ、よさこいネットワーク栃木、株式会社ファーマーズ・フォレスト、サトーカメラ株式会社</p> <p>4 実施日時 平成31年10月26日(土) 午後5時～午後9時</p> <p>5 会 場 大谷資料館ほか</p> <p>6 内 容 大谷石明かりの展示、大谷石へのプロジェクションマッピング、大谷景観のライトアップ、飲食等ブース</p> <p>また、当該年度の本事業は台風被害の影響のため、中止</p> <p>・翌年度以降の取組等 本市を代表する観光地である「石の里・大谷」における地元住民主体イベントによる地域活性化と大谷地域への誘客促進を図ることで、「大谷」のみならず、城山地区全体の観光振興を図るため、引き続きフェスタin大谷を開催する。また、平成29年度より、日中から夜間開催にすることで、大谷石あかりや大谷石の景観のライトアップなど夜の「石の里・大谷」の魅力市内外に発信することで更なる観光誘客に繋げるため、フェスタin大谷を引き続き実施し、大谷地域の活性化、大谷観光振興に取組む必要がある。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>基本目標:本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。</p> <p>KPI:本市年間観光入込客数 H22:1,353万人 H30実績:1,512万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	フェスタin大谷2017の開催	フェスタin大谷2018の開催	フェスタin大谷2019の開催		フェスタin大谷2020の開催
事業費	3,692,551	3,485,347	2,073,320	9,251,218	4,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	3,000,000	1,870,293	7,870,293	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	935,146	2,935,146	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	692,551	485,347	203,027	1,380,925	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光交流課 観光企画グループ
担当者名	大岩 蒼生
電話	028-632-2437
FAX	028-632-5420
E-mail	kanke@city.utsunomiya.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	フェスタin大谷実行委員会交付金事業	
対象年度	31	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
負担金	0	商工会議所等3件
協賛金	0	広告協賛52件
交付金	1,870,293	宇都宮市交付金
事業収入	0	ブース出店料15店舗等
繰越金	201,136	前年度繰越金
諸収入	1,891	預金利子
計	2,073,320	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
消耗品費	57,223	57,223	28,611	0	事務用品購入代
印刷製本費	178,220	178,220	89,110	0	チラシ、ポスター等印刷費
広告費	144,100	144,100	72,050	0	SNS広告宣伝料
手数料	11,760	11,760	5,880	0	振込手数料
委託料	1,478,990	1,478,990	739,495	0	プロジェクションマッピング 委託料
繰越金	203,027			203,027	
計	2,073,320	1,870,293	935,146	203,027	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単体事業調査)  
【単体事業】

市町名	宇都宮市
事業名	うつのみや食育フェア実行委員会交付金事業
事業主体の名称	うつのみや食育フェア実行委員会
代表者の名称	うつのみや食育フェア実行委員会 会長 佐藤 栄一
事業主体の所在	宇都宮市竹林町972番地(宇都宮市保健福祉部保健所健康増進課内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:うつのみや食育フェアを通じて、市民一人ひとりが食育の重要性を理解し、健全な食生活を送れるよう、食育の普及及び啓発を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成18年5月26日</p> <p>・構成員等:宇都宮市食育推進会議、宇都宮市食生活改善推進員協議会、宇都宮農業協同組合ほか26団体の代表者 計31名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>本事業は、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、家庭、学校、地域、企業など多様な取組主体と連携し、食に関する知識の普及と体験の機会を提供することで、市民に食育の重要性について啓発することを目的とし、平成18年度から開催している。</p> <p>本市では、本事業やその他食育に関する事業を推進してきた結果、市民の食育の認知度は向上してきたが、依然として若い世代の食育の実践や、働く世代のメタボリックシンドロームの予防改善が課題となっている。また、本事業が秋のイベントとして市民に定着してきている一方、近年の参加者数は横ばいとなっており、参加者を増やすための催事や広報の取組が課題となっている。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、家庭、学校、地域、企業など多様な取組主体と連携し、食に関する知識の普及と体験の機会を提供することで、市民に食育の重要性について啓発する。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>1 実施日時 令和元年10月6日(日) 午前10時～午後3時</p> <p>2 会場 宇都宮城址公園</p> <p>3 周知方法 テラシ、ポスターを始め、SNSによる情報発信やラジオ等を活用した広報を実施し、多くの市民に来場いただけるよう周知を図った。</p> <p>4 内容</p> <p>(1) 出展ブース:食育に関する情報提供ブース、試食・体験ブースなど(昨年度実績87ブース)</p> <p>(2) ステージ:食育関係表彰式、集客性のあるステージイベント(調理披露等)など</p> <p>(3) その他:会場内を巡るクイズラリーなど</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>更なる食育の普及啓発に向け、多様な取組主体と連携・協力のもと、催事の充実度を高めていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>・基本目標:市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する</p> <p>・基本施策・具体的な事業:高齢者になっても健康で自立した生活を送りながら、あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。</p> <p>・KPI:健康寿命 H25(男性78.58歳、女性83.17歳)⇒R4(平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の増加)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第13回うつのみや食育フェア開催	第14回うつのみや食育フェア開催	第15回うつのみや食育フェア開催		第16回うつのみや食育フェア開催
事業費	7,600,514	6,667,185	6,575,685	20,843,384	6,575,685
市町支支出金 (ソフト事業分)	6,619,540	5,755,000	5,755,000	18,129,540	5,755,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	980,974	912,185	820,685	2,713,844	820,685

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課企画グループ
担当者名	緑川 慎也
電話	028-626-1128
連絡先 FAX	028-627-9244
E-mail	u19070500@city.utsunomiya.tochigi.jp



## 栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	うつのみや食育フェア実行員会交付金	
対象年度	元	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
交付金	5,755,000	宇都宮市からの交付金
協賛金	830,000	企業、団体等協賛金
諸収入	82,185	備品使用料等
計	6,667,185	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	277,182	100,000	50,000	177,182	封筒, プリンタインク, 文具等
通信運搬費	59,961			59,961	郵送料, 切手等
食糧費	66,700			66,700	弁当代
保険料	6,000	6,000		0	生産物賠償責任保険, レクリエーション保険
報償費	3,000	3,000	0	0	講師謝金
使用料及び賃借料	53,845	50,000	25,000	3,845	きぶなバス無料利用代, 発電機レンタル料等
委託料	6,193,000	5,596,000	925,000	597,000	企画運営業務委託料
予備費	0			0	
次年度繰越	7,497			7,497	
				0	
計	6,667,185	5,755,000	1,000,000	912,185	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	宮っこフェスタ2019
事業主体の名称	宮っこフェスタ実行委員会
代表者の名称	渡辺 道仁
事業主体の所在	宇都宮市旭1-1-5
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:宮っこフェスタの開催を通じて、家庭・地域・企業・行政等のネットワークを構築するとともに、宮っ子に同世代・異世代との交流の場を提供し、もって子育てに係る社会全体の機運を醸成する。</li> <li>・設立年月日:平成20年7月15日</li> <li>・構成員等:宇都宮市青少年育成市民会議、宇都宮市私立保育園協会、宇都宮市女性団体連絡協議会、宇都宮市女性団体連絡協議会、男女共同参画社会の実現を目指すつづのみや市民会議、宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会、宇都宮中心商店街活性化委員会、宇都宮商工会議所、株式会社 下野新聞社、株式会社 エフエム栃木、株式会社 とちぎテレビ、宇都宮市教育委員会、宇都宮市子ども部</li> <li>・台風19号により中止</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>宮っこフェスタでは、子どもたちに商店街の方々や多くの市民とのふれあいを通じて、働くことの大切さや暮らさを実感してもらおうきっかけを提供することを目的として、「職業体験活動」を実施している。</p> <p>申込数は募集定員の2.5倍近くあることから、引き続き受入人数を拡大させるため、商店等での受け入れ拡大や、関係機関・団体等からのボランティアの協力を得ていく必要がある。</p> <p>また、伝統工芸品などの物づくりを体験できるブースが昨年度始めて出展し、素晴らしい達成感を実感する子どもの様子も見られたことから、企業の協力を得て伝統工芸や技能職に関わる体験ブースの充実について検討する必要がある。</p>
事業目的	「次代を担う宮っ子たちが夢や希望を持って健やかに育つことができる社会」また「誰もが子どもを安心して生み育てることができる社会」の実現のために、家庭・地域・企業・行政等が一体となって、宮っ子に同世代・異世代との交流の場や、子育ての楽しさを実感できる場を提供し、子育てを社会全体で支え合う機運を醸成するもの。
事業概要	<p>宮っ子に同世代・異世代との交流の場や、子育ての楽しさを実感できる場を提供するため、「宮っこフェスタ2019」を開催する。</p> <p>【開催日時、場所】令和元年10月12日(土)、宇都宮市中心市街地4会場 (オリオンスクエア、パンパひろば、まちなか商店街、宇都宮市民プラザ)</p> <p>【内容】・オリオンスクエアステージでの「青少年の日頃の活動成果発表」や家族で参加する「仮装コンテスト」の実施 ・小学校4～6年生を対象とした街なか商店街の実店舗における「職業体験」の実施 ・バルーンアート体験や工作など、青少年への体験活動の提供を目的とした体験ブースの設置 ・歌遊びやダンス、劇などの未就学児親子が楽しめるステージイベントの実施 ・未就学児から小学生を対象に、まちなか商店街の6か所でお菓子とスタンプがもらえるスタンプラリーの実施 ・「ふれあいのある家庭づくり作品コンクール」の表彰式と入賞者の表彰(「家庭の日」運動と連携)</p> <p>【翌年度以降の取組】 今後も子どもたちに同世代・異世代の交流の場や様々な体験機会を提供することができるよう、実行委員会の構成団体や関係機関、団体との連携を図っていく。</p> <p>台風19号により中止</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:全ての子ども・若者を健やかに育成する 基本施策:全ての子ども・若者が自主的・主体的に活動でき、 地域の中で心身ともに健やかに育つことが出来る環境づくりを推進 指標:宇都宮で子育てをしていきたいと思う親の割合 H28年現在値95.9%⇒H34目標値98.5%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	31年度	32年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	宮っこフェスタ2019	宮っこフェスタ2020			宮っこフェスタ2021
事業費	3,673,021	4,808,620		8,481,641	3,815,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,527,000	3,600,000		6,127,000	2,527,000
うち県交付金	1,263,500	1,800,000		3,063,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	0
その他自主財源等	1,146,021	1,208,620	0	2,354,641	1,288,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	子ども未来課健全育成グループ
担当者名	鈴木 友樹
電話	028-632-2344
FAX	028-638-8941
E-mail	mivakko-festa@city.utsunomiya.tochigi.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	宮っこフェスタ2019	
対象年度	31	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	2,527,000	
協賛金	648,000	イベント広報誌「宮っこ新聞」企業広告協賛
負担金	432,400	構成団体・出展者等負担金, 職業体験参加者負担金等
雑収入	10	預金利子
繰越金	65,611	
計	3,673,021	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	2,667,234	1,797,638	898,819	869,596	会場設営・警備業務 広報紙製作・広告募集業務 広報紙発送業務 ホームページ改修業務 職業体験参加者配布用ポロ シャツ等
消耗品費	388,784	363,784	181,892	25,000	新聞, ラジオ, テレビ広告
広告費	205,000	205,000	102,500	0	スタッフID証, 立て看板等
備品購入費	130,458	130,458	65,229	0	音響機材, 会場備品借用代 等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	本部携帯電話代, 郵送代
通信運搬費	27,820	27,820	13,910	0	道路占用許可印紙代等
手数料	2,300	2,300	1,150	0	ボランティア学生の昼食代
食糧費	0	0	0	0	参加者の保険料
傷害・損害賠償保険料	0	0	0	0	ステージ司会者等
報償費	0	0	0	0	会議用お茶代等
食糧費	0	0	0	0	次年度繰越金
その他	251,425	0	0	251,425	
計	3,673,021	2,527,000	1,263,500	1,146,021	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	未来につなげよう~わたくしたちのまち プロジェクト
事業主体の名称	細谷・上戸祭地域まちづくり協議会「未来につなげよう~プロジェクト」実行委員会
代表者の名称	会長 大谷 和夫
事業主体の所在	宇都宮市細谷1-4-38(細谷地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:細谷・上戸祭地域が持つ様々な資源や特色、地域に潜在する地域住民のやる気や熱意を活かし「細谷・上戸祭地域の魅力や個性の発信」・「賑わいの創出による交流人口及び流入人口の増加」等、地域住民の創意工夫に溢れる活動を実践することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成15年4月1日</p> <p>・構成員等:細谷・上戸祭地区の各自治会やまちづくり組織及び関係機関・団体と学識経験者・公募委員をもって構成する。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>細谷・上戸祭両小学校の通学区域には、約17,000人の方々が居住されていて、幼・保・小・中学校から高校・大学、特別支援学校もあり、史跡や遺跡が数多く点在し、いまだ緑が豊かで、暮らしに欠かせない診療所や商店・スーパーマーケット・コンビニ・郵便局・銀行・路線バスなども充実して利便性に優れた暮らしやすいまちとなっています。しかしながら、私たちの住む、この細谷地域を「10年後、20年・30年後」も「暮らしやすいまち」「住みやすいまち」「住んでいてよかったまち」「これからもずっと住み続けたいまち」であり続けるためには…。選ばれるまちに向けて「細谷地域の魅力を内外に発信して多くの地域内外の人々との交流を深め「交流人口・流入人口」の増加を積極的かつ継続的に図ることが課題である。</p>
事業目的	<p>上記の課題解決のために次の事業を継続的に展開するものである。</p> <p>・選ばれるまちに向けて「細谷・上戸祭地域の魅力」を内外に発信          ・地域内の「文化財や遺跡・史跡」の環境保護保全活動          ・交流人口及び流入人口の増加を図る          ・農業生産者の意欲向上          ・咲かせよう~地域内全体をひとつの花壇にしよう運動の実施          ・地域コミュニティを醸成          ・地域の魅力を再発見できるウォーキングマップを作成して地域の賑わいづくり</p>
事業概要	<p>【イベント】</p> <p>事業名:細谷地域「未来につなげよう~わたくしたちのまち」ふれあいフェスタ          日時:令和元年11月10日(日)10:00~14:00          場所:宇都宮市立細谷小学校校庭・体育館(候補地)          主催:細谷・上戸祭地域「未来につなげよう~プロジェクト」実行委員会          周知方法:地区のHP・ブログでの発信や自治会での回覧で幅広く周知し、新聞折込によるチラシ配布のほか、関係施設でのポスター掲示も協力してもらった。また、宇都宮市「広報うつのみや」への掲載など、あらゆる機会を通して周知することができた。なお、イベント会場では、新米の試食や地域活動PRブースを設置し地域内の魅力を発信することができた。</p> <p>内容:ブースでは、細谷・上戸祭地区で収穫された新米等をブースで試食販売した。(予約販売を含む)また、地区内の新米や、加工品の販売、農産物や花卉などの販売も行った。アトラクションでは、地区内に伝わる伝統芸能(お囃子など)を披露し、宇都宮中央女子高校、陽西・星が丘・宝木中学校の生徒による合唱、プラスバンド等の競演、文芸芸術大学生による作品展示会、地区内消防団第10・11分団による操法訓練披露、消防ポンプ車の展示及び撮影会、大道芸人等によるステージなど賑わいを創出することができた。</p> <p>【2020年度以降】</p> <p>・前年度の効果を検証し、集客につながる地域の魅力をPRするための方法を検討を行っていく。          ・地域の参加を積極的に推進し、ブースの増設などイベントの規模の拡大を図ることで新たな来場者を確保する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。          自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	「未来につなげよう~わたくしたちのまち」プロジェクト ふれあいフェスタなど実施 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施	「未来につなげよう~わたくしたちプロジェクト」ふれあいフェスタの実施 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施	「未来につなげよう~わたくしたちのまちプロジェクト」ふれあいフェスタの実施 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施		「未来につなげよう~わたくしたちのまち」プロジェクト ふれあいフェスタの実施。 花いっぱい運動(地域をひとつの花壇にしよう)の実施
事業費	1,466,091	300,000	300,000	2,066,091	300,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	966,091	300,000	300,000	1,100,000	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	北市民活動センター
担当者名	大栗
電話	028-622-7093
連絡先 FAX	028-622-7093
E-mail	u47900004@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「未来につなげよう～わたくしたちのまち」プロジェクト	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	966,091	
計	1,466,091	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	95,970	50,000	25,000	45,970	出演団体実費弁償
消耗品費	678,495	220,000	110,000	458,495	名所・旧跡表示板、花の種子、 イベント開催用各種消耗品
食糧費	87,560	0	0	87,560	会議用お茶、 ご来費用お買物券
印刷製本費	260,922	150,000	75,000	110,922	会議用資料印刷費、 チラシ、ポスター、マップ
通信運搬費	25,614	0	0	25,614	会議、イベント等案内状送付 料
委託料	100,660	50,000	25,000	50,660	文星芸大へのマップ・ポスター等 デザイン製作費
材料及び賃借料	40,000	30,000	15,000	10,000	楽器運搬等レンタカー借用料
備品購入費	176,870	0	0	176,870	パソコン 1台、 ポップコーン製造機 1台
				0	
				0	
計	1,466,091	500,000	250,000	966,091	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単体事業調書)  
【単体事業】

市町名	宇都宮市
事業名	「旧仮本陣芦谷家」を活用したまちづくりの拠点化事業
事業主体の名称	雀宮地区まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 稲葉 豊
事業主体の所在	宇都宮市新富町9-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的:雀宮地区内の各種団体、関係機関の連絡調整を図り、必要な実践活動を通して、地区の活性化、住民福祉の向上に寄与するとともに、住民によるまちづくりを推進することを目的とする。</li> <li>設立年月日:平成15年4月1日</li> <li>構成員等:雀宮地区の自治会、各種団体、機関、その他ボランティア等地区内で活動する団体などをもって組織</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	JR雀宮駅西側の国道4号沿線は、かつて日光街道の宿場町「雀宮宿」として栄え、本陣や陣本陣、仮本陣があったが、唯一現存するのが「旧仮本陣芦谷家」であり、この歴史的建造物を保存・活用し、まちの歴史や暮らしの文化等を次世代に伝えていく必要がある。また、雀宮地区内には、数多くの史跡等が点在しているが、来街者に対する案内や情報提供が十分とは言えない状況であったことから、本市の南の玄関口であるJR雀宮駅に近接する立地条件を活かし、まちづくりや情報発信の拠点として、地域の活性化や交流人口の増加につなげていく必要がある。
事業目的	宇都宮市の南の玄関口として栄えた宿場町「雀宮宿」に唯一現存する「旧仮本陣芦谷家」を保存・活用することで、地域住民の地域への誇りや愛着を高めていくとともに、まちづくりの情報発信拠点として活用することで、地域の活性化や交流人口の増加に繋げていく。
事業概要	<p>雀宮宿の仮本陣芦谷家を拠点としたイベントを通し、まちの歴史・暮らしの文化について認識を深め、次の世代に残していくべきまちの景観について考え創造につなげていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>実施日時:令和2年3月21日(土)午前9時から午後5時まで</li> <li>場所:仮本陣芦谷家</li> <li>内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>1)仮本陣芦谷家の開設記念イベントを開催。*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(実施日未定)</li> <li>・だれもが雀宮宿のまち歩きができるよう看板やちらし等を作成、またテレビモニターや机・イス等を整備し、観光案内の拠点として仮本陣芦谷家や雀宮宿等に関する情報発信を図る準備ができた。</li> <li>・地元野菜の朝市を開催する体制ができた。</li> <li>・映画会等を開催できるようにプロジェクター等を整備することができた。</li> <li>・お茶会や箏の演奏会、模擬店などを実施する体制ができた。</li> </ul> </li> </ol> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮本陣芦谷家を「(仮称)すずめ宿」として雀宮の拠点とし、イベントにて活用することで、歴史的文化遺産に対する住民のより一層の誇りや愛着を高めながら持続的な地域コミュニティの発展拡大に繋げていく。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくりを進める。 自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	「すずめ宿」開設イベント ・地元野菜の朝市 ・映画会 ・模擬店 ・お茶会、箏の演奏会	「すずめ宿」を雀宮の拠点として活用 ・映画会 ・雀宮宿のまち歩き	「すずめ宿」を雀宮の拠点として活用 ・映画会 ・駅からハイキング		「すずめ宿」を雀宮の拠点として活用 ・映画会 ・雀宮宿のまち歩き
事業費	641,801	100,000	100,000	841,801	100,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	141,801	100,000	100,000	341,801	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市雀宮地区市民センター
担当者名	尾崎 光法
電話	028-654-1013
連絡先 FAX	028-653-5646
E-mail	u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	旧仮本陣芦谷家を使ったまちの駅の拠点化事業	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	141,801	
計	641,801	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	264,665	223,000	111,500	41,665	事務用品, プリンターインク, コピー用紙, 木材等
食糧費	6,572	0	0	6,572	会議用お茶代
印刷製本費	34,360	25,000	12,500	9,360	チラシ, 資料印刷等
通信運搬費	3,586	2,000	1,000	1,586	郵送料
備品購入費	332,618	250,000	125,000	82,618	TVモニター, DVD機器, プロ ジェクター等
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	641,801	500,000	250,000	141,801	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単独事業調査)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	「わがまち西原」魅力発見事業
事業主体の名称	西原地域コミュニティ協議会
代表者の名称	岩本 正男
事業主体の所在	宇都宮市西原二丁目5番42号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:西原地区内の各種団体相互の連絡調整及び協力を図ることにより、地域の活性化と住民福祉の向上に寄与し、もって地域住民による「まちづくり」を推進することを目的とする。</li> <li>・設立年月日:平成15年5月24日</li> <li>・構成員等:西原地区内の自治会、各種団体、機関、その他のボランティア等、地区内で活動する団体等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内に多くの地域資源(各所旧跡・歴史的資源)があるにも関わらず、その魅力を活かしきれていない。宇都宮の古い歴史が薫るこの地域において、地域資源を活用しながら地域住民が主体となって、地域づくりに取り組むことにより、永続的に地域で活躍する人材の育成・確保につなげていくこと、さらには、これからの少子高齢化社会においても地域コミュニティの維持・活性化が求められている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成から令和へと新しい時代を迎えたこの機会に、西原地区の歴史や伝統文化に光を当てその価値を共有することで、住民自身が地域の魅力を再認識するとともに、地区外にも西原地区の魅力を発信することで交流人口の拡大を図る。</li> <li>・地域住民がともに活動する機会を創生することで西原地区の長期的なまちづくりに向けた基礎を築き、地域に対する誇りと愛情を持った「ひとづくり」の推進と「地域づくり」を実現する。</li> </ul>
事業概要	<p>○栃木、壬生、楡木などの各方面から宇都宮城下に入る要衝の地として残る六道の名や戊辰戦争の記憶のほか、汗かき阿弥陀など多くの歴史文化資源や地域で活躍する人材に光を当て、地域住民がこうした地域資源に直接触れ、理解する取り組みを実施した。</p> <p>①「こどもみこし祭り」に合わせた地域内名所めぐり(開催日:令和元年5月5日(日))※令和2年以降は7月に開催予定 各自治会のみこしを出御し、幼児、児童、保護者に地区内を練り歩き、沿道の住民に応援いただく事業に合わせ、地区内の史跡旧跡(新町ケヤキ・新川さくら・六道間陣堂、戊辰戦士墓所)を巡回し、各所にてその由来を解説し、地区の歴史と伝統に触れさせた。途中に休憩所を設置し、地元住民の協力により、飲み物や果物を提供し、地域ぐるみの取り組みとなった。改元記念となる令和元年度は、旧大黒町花屋台や桃太郎山車の巡回と併せて600名の参加者を得て開催し、地区内外に効果的に周知した。</p> <p>②「ほたる祭り」に合わせた地域人材の紹介(開催日:令和元年6月22日(土)) 西原小学校行事として行う3年生児童のピオトープへのホタル幼虫(100匹)の放流に加え、地域住民が参加して、6月に新たに成虫200匹を放ち、地域ぐるみの蛍鑑賞会にしていくとともに、地区内で湧出する湧水の周知や、地元で活躍するアーティストとして、コーラスグループ「コーラス はなぶさ」の皆さんをお迎えし、参加された400名の皆さんに楽しんでいただいた。</p> <p>③「新川さくら祭り」に合わせた地域自慢の促進(開催日:令和2年3月28日(土))※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 地域内外から約2万人の来場者を迎えるさくら祭りに合わせて、西原地区の歴史や地域資源を紹介するスペースを設置し、地域住民や訪問者が地域の魅力を知ることができる機会とするため、紹介コーナーを設置するためのテーブルや照明設備に係る環境の整備、事業を効果的に周知するための広報資料の制作準備をした。 【令和2年度以降】 今回取り組んだ環境整備や人材育成を生かして、ほたる祭りやこどもみこし、新川さくらまつりなどの多くの住民が参加する地域事業とタイアップしながら、より効果的に地域の魅力を多くの人に発信し、郷土愛を高める取り組みを継続的に実施予定 【令和2年度以降】 ほたる祭り、こどもみこし祭り、新川さくら祭りなどの地域ぐるみの事業を通じて、地域資源や人材の発掘や周知、活躍できる場の創出を継続的に進めていく。 【周知方法】 ・コミュニティ協議会が発行する地域情報紙(年3回発行)のほか、回覧やポスターなどで周知を図る。また、市の広報紙やタウン誌、下野新聞やミヤマガに情報提供する</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る 【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。 自治会加入世帯数H27.4 現在:147,810 世帯→ H31:148,810 世帯</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知	こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知	こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知		こどもみこし祭り、ほたる祭り、新川さくら祭りなど地域事業を通じた地域資源の発掘、周知
事業費	669,695	580,000	600,000	1,849,695	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	169,695	580,000	600,000	1,349,695	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	中央市民活動センター
担当者名	高瀬 敦子
電話	028-632-6331
FAX	028-639-7579
E-mail	u47090100@city.utsunomiya.tochigi.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画（実績）書（単位事業収支予算（精算）書）

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「わがまち西原」魅力発見事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	169,695	まちづくり協議会、連合自治会負担金、協賛金、広告料
計	669,695	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償金	20,000	20,000	10,000	0	解説ガイド講師、出演アーティスト謝金等
消耗品費	367,681	260,000	130,000	107,681	ばんぼり、ホテル購入、飾り付け用消耗品等
印刷製本費	70,510	70,000	35,000	510	チラシ、ポスター、解説用パネル作成等
使用料及び賃貸料	0	0	0	0	仮設トイレ、カラオケ使用料等
委託料	0	0	0	0	ステージ、ばんぼり設営、電気工事等
食糧費	17,434	0	0	17,434	スタッフ弁当、講師用お茶等
備品購入費	194,070	150,000	75,000	44,070	折り畳み机、照明用ライト等
				0	
				0	
				0	
計	669,695	500,000	250,000	169,695	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市 町 名	宇都宮市
事 業 名	東地域【花のゆりかご みどりのさとおや】事業
事業主体の名称	東地域まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 小島 弘義
事業主体の所在	宇都宮市東鳩田1-6-14(東地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 東地区内の団体及び個人の相互の連絡調整及び協力を図ることにより、地域の活性化と住民福祉の向上に寄与し、地域住民によるまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日: 平成15年4月1日</li> <li>・構成員等: 東地域内で活動する各種団体</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>東地域は宇都宮丘陵の南端二荒山神社臼が峰・八幡山と、宇都宮を南北に流れる田川の間位置し、JR宇都宮駅や県庁からも近く利便性の高い地域である。しかしながら、近年は高齢化率の上昇や空き家の増加、それにともなう東小学校の児童数の減少など、地域の活性化に大きな影響を及ぼす課題が顕在化している。</p> <p>少子高齢化は地域活動にも影響を及ぼしており、今後、地域が持続的に発展し続けるためには、子どもから高齢者まで世代間の交流を深め、顔の見える関係作りを主眼に、地域を活性化することが必要である。</p>
事業目的	<p>【主題】花々を育てまちに増やしていくことで、人々の心をつなげ、育てていく事業とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を活用し住民自らの手で花を育て増やし、地区のシンボルとなる花にあふれた美しい街の景観を創出し、住民自らの地域への愛着を育てるとともに、地域外からの来訪者にも安らぎを与える魅力的なまちづくりを行う。</li> <li>・地区住民に愛されている東小学校を核に地区内外に広がる事業を組み立て、小学生から高齢者まで幅広い層の住民が気軽に参加し交流を促すことで、今後のまちづくりの担い手として協働意識を育み事業を展開する。</li> <li>・地区内の緑化推進団体や各公園、河川愛護会などそれぞれが地道に実施している活動が、高齢化等により維持継続が難しくなりつつある現状を踏まえ、地区住民が支えあい、絆を強める事業とする。</li> </ul>
事業概要	<p>○東地区【花のゆりかご みどりのさとおや】事業</p> <p>《花をみんなで育てる、増やす》</p> <p>10月2日 東小学校歩道橋前花壇に、東小学校PTA、地区役員10名により、白妙菊、葉牡丹など約60鉢を植栽した。</p> <p>11月6日 台風19号(10月12日)により植栽した花苗が流失したため、再度同花壇にパンジー及びチューリップの球根を植え直した。</p> <p>11月15日 台風19号の甚大な被災を受け、地域住民の花による心のケア対策を兼ね、小原みどりさんを講師に東地域コミュニティセンターにて寄せ植え講座を開催した。</p> <p>《花を増やし、地区に生かす》</p> <p>3月15日 地域住民の手により増やした花苗を公共用地や地区のシンボルとなる場所に、地域住民協働により移植しまちの景観を高める循環を作ることを目標に、令和元年度事業では、シンボルとなる場所として宇商通りの植栽樹10か所を選定し、姫イワダレ草を植栽した。</p> <p>《花をバトンに住民の心をつなぐ、花リレー》</p> <p>3月15日 植栽技術の講師として小原みどりさんを招き、地域住民49名が参加し、芝桜のプランター植込み作業を実施した。作成した70鉢のプランターは地域住民により耕した学校花壇など東小学校の構内に設けた涵養ヤードに置くとともに、当日参加した里親ボランティアの持ち帰りにより水やりや除草を行い、今後地域内緑化を進めていくための株の増殖を進めることとした。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>東小学校の花壇の一部・犬走の一部を涵養ヤードとし、東小の児童にも協力を請いながら育て、増えた株を地域内外に再分配をしていく。本事業の要は涵養ヤードを設定し初期費用で購入した花苗を末永く継続的に株分けし増やし続けることである。(芝桜の株分は初秋、年2割程度の増加を目標とした。)</p> <p>【周知方法】</p> <p>地域ブログ、回覧などを利用し植栽を周知する。事業協力者間の交流をはかり、回を重ねることで活動参加者の拡大をはかることとした。</p> <p>【事業継続のためには】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内外にスポンサーを募る。</li> <li>・広報誌「なのはな」、地域ブログを通じ「みどりのさとやおや」の募集と共に「花のあしながおじさん」(仮称)としてスポンサー(事業継続のための協賛者)を募り、本事業を末永く継続するため地域意識を醸成させる。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】地域内外の世代間交流機会を増やす。【KPI】現在、年5回の交流機会を年10回以上に増やす。

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・みんなで育てよう 「草花の植栽」バトン	・みんなで増やそう 「草花の株分け・植栽」リレー	・みんなで増やそう 「草花の株分け・植栽」リレー		・みんなで増やそう「草花の株分け・植栽」リレー
事業費	669,443	65,000	80,000	814,443	65,000
市町支出金	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	169,443	65,000	80,000	314,443	65,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市中央市民活動センター
担当者名	安藤 亮一
電話	028(632)6331
FAX	028(632)7579
E-mail	u47090100@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

		<b>宇都宮市</b>	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
<b>単位事業名</b>	<b>東地区【花のゆりかご みどりのさとおや】事業(仮称)</b>			
<b>対象年度</b>	<b>31</b>	<b>年度</b>		

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	169,443	
<b>計</b>	<b>669,443</b>	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
消耗品費	339,843	281,000	140,500	58,843	芝桜 @200×500 ¥100,000- ペチュニア @350×100 ¥ 35,000- カラハーフ @250×200 ¥ 50,000- パンジービオラ @100×200 ¥20,000- 園芸軍手 @200×50 ¥10,000- プランター @400×50 ¥20,000- 培養土 @630×50 ¥31,500- 腐葉土 @430×70 ¥30,100- 肥料 @250×30 ¥7,500-
印刷製本費	137,634	120,000	60,000	17,634	印刷代(広報誌作成) ¥120000-
食糧費	57,545	0	0	57,545	植栽時弁当及び飲料 ¥75,900- 内訳 @1265×30人×2回
燃料費	4,241	4,000	2,000	241	ガソリン・まき等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
備品購入費	110,180	75,000	37,500	35,180	耕運機 ホンダ エンジン式こまめ F220JT相当 くわ、スコップ、ショベル等
報償費	20,000	20,000	10,000	0	講師謝金10000×4回
<b>計</b>	<b>669,443</b>	<b>500,000</b>	<b>250,000</b>	<b>169,443</b>	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

※黄色で塗りつぶしたセル内をご記入ください。

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市 町 名	宇都宮市
事 業 名	峰地区みんなの夢実現事業
事業主体の名称	峰地区まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 塩竈 修一
事業主体の所在	宇都宮市峰3-20-17(峰地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	・団体の目的: 峰地区の各種団体相互の連絡及び協力により、各種地域活動を活性化し、地域住民のコミュニティづくりと明るく・楽しい・住み良い・まちづくりを推進して、地域の発展と地域の福祉の増進並びに地域社会の向上を図ることを目的とする。
当該事業に係る地域の現状と課題	峰地区は宇都宮駅東地区の中核をなす地域であり、今後もその役割は不変と思われます。少子高齢化の波は峰地区も例外ではなく押し寄せてきており、住民が安心して生活できる「安全なまちづくり」に向けた各種の取り組みを強化していく必要があります。これらの状況を踏まえて、目くばり、気くばり、思いやり、そしてつながりのある地区を作るための取り組みを行い、情報、知識の習得のみでなく住民間の交流を図り、互助機能の強化に取り組みたい。
事業目的	峰地区内外の人も参加できるイベントを企画し、防犯、防災、交通安全を中心とした内容で仮称『安全まつり』を開催し、各自治会単位に組織化ができるように知識の習得を図る。具体的な指導は警察、消防、交通安全協会などの協力を頂き具現化を図る。
事業概要	今年度より「峰地区秋の安全まつり」と題して企画、実施し取り組みの趣旨の徹底を図った。・今年度は実施時期を12月8日の日曜日に開催した。(各協力団体と日程調整しこの日時とした。)・場所は峰小学校の校庭を開催場所とし、防犯、防災、交通安全に関する日常的に必要な知識を習得することができた。今後は、全ての団体が揃わない時でも定期的に開催することとし、年ごとに内容の見直しを行っていくこととする。開催時間は午前10時より16時をメドとして企画した。訓練の一環として炊き出しを行った。周知方法は今年度は看板を作り、ポスターを作成し地区内に掲示した。併せて自治会内部に於いては全戸配布の回覧、地区内各団体会議などを活用して出来る限りの広報を行い、多くの参加があった。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る 【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。 自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	峰地区安全まつり炊き出し	峰地区安全まつり炊き出し	峰地区安全まつり炊き出し		峰地区安全まつり炊き出し
事業費	562,463	350,000	350,000	1,262,463	350,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	0	0	500,000	0
うち県交付金	250,000	0	0	250,000	
市町支出金(ハード事業分)					
うち県交付金				0	
その他自主財源等	250,000	350,000	350,000	762,463	350,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	峰地区みんなの夢実現事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
行政支出金	500,000	栃木県25万円、宇都宮市25万円
自主財源	62,463	峰地区まちづくり推進協議会、峰地区防災会、峰地区防犯会
計	562,463	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	40,000	20,000	10,000	20,000	参加者景品
備品購入費	442,655	440,000	220,000	2,655	看板、防災グッズ、テーブル、い
印刷製本費	42,985	40,000	20,000	2,985	開催案内ポスター、回覧等
消耗品費	0	0	0	0	防災、防犯、炊き出し用品購入
食糧費	27,682	0	0	27,682	非常用飲料水ペットボトル
使用料及び賃借料	9,141	0	0	9,141	ゴミ廃棄コンテナ
				0	
				0	
				0	
				0	
計	562,463	500,000	250,000	62,463	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	陽光太鼓を活用したまちづくり推進事業
事業主体の名称	陽光地区まちづくり推進協議会
代表者の名称	会長 小栗 秀夫
事業主体の所在	宇都宮市緑5-8-8(陽光地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:陽光地区内の各種団体・関係機関の連絡調整を図り、必要な実践活動を通して地域の活性化と、住民福祉の向上に寄与し、地域住民によるまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成19年4月1日</li> <li>・構成員等:陽光地区で活動する各種団体</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	陽光地区は、県が整備推進する総合スポーツゾーンに隣接し、緑豊かな自然が多く、近隣には大手スーパーや病院・医院等があり生活に便利な地区である。また、地域では年間を通して地域活性化のため多くの行事が実施されているが、高齢化率の上昇や児童数の減少が顕著で、行事への参加率が減少傾向にある。これは、今後の地域活性化に大きな課題を抱えることになり、これからも行事を継続していくためには、子どもから高齢者まで世代を超えた交流の再構築が重要となる。
事業目的	当地区は新興住宅都市として町が形成されたため、歴史的資源がほとんどない。しかし、地域では年間を通して多くの行事が実施され、協力体制は素晴らしい地域性である。そこで、地域の魅力をさらに高めるため、伝統文化である和太鼓や地域で活動する音楽グループによる音楽の祭典(陽光フェス)を地域住民主体で開催し、交流人口の増加と地域まちづくりの担い手を育成する機会とし、世代を超えた継続的な地域活動につなげていく。
事業概要	<p>【平成31年度】</p> <p>音楽の祭典(陽光フェス)の開催に伴い、下記に掲げる事業について、地域の各種団体、ボランティアなどが協力し実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 音楽の祭典開催についての広報を行った。パンフレットを、地域の各種事業の際に配布、コミセン等行政機関窓口での配布を行い参加者の募集等を行った。</li> <li>2 陽光音楽祭は10月27日(日)に開催し、地区で開催される各種事業をPRし地域の魅力を発信した。</li> <li>3 地区の魅力を発信するため新たに和太鼓演奏集団(陽光太鼓)を結成する準備した。</li> </ol> <p>【平成32年度以降】</p> <p>継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する。新たな演奏者も加え、地域を挙げた祭典を開催する。陽光太鼓は、各種行事への参加・発表を実現していきたい。特に、当地区は総合スポーツゾーンに隣接するため、2020年東京オリンピック開催前の強化練習地として“ハンガリー”の選手団が来県するので、地元交流としての歓迎セレモニーでの演奏を披露したい。また、2年後の2022年には栃木国体が開催されるので、地元交流として演奏を披露したい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくりを進める。</p> <p>自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	○音楽の祭典(陽光フェス)の広報 ○陽光フェスの開催(10月下旬~11月上旬) ○陽光太鼓演奏団の結成	○継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する ○音楽を通して地域の魅力を発信する。	○継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する ○音楽を通して地域の魅力を発信する。		○継続して音楽の祭典(陽光フェス)を開催する ○音楽を通して地域の魅力を発信する。
事業費	500,312	80,000	80,000	660,312	80,000
市町支出金(ソフト事業分)	400,000	0	0	400,000	0
うち県交付金	200,000	0	0	200,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	100,312	80,000	80,000	260,312	80,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	宇都宮市	
単位事業名	陽光太鼓を活用したまちづくり推進事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	400,000	
地元負担金	100,312	
計	500,312	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品	39,280	18,000	9,000	21,280	プリンターインク 祝儀袋 太鼓ばち 太鼓用台車材料
通信運搬費	0	0	0	0	
備品購入費	447,032	368,000	184,000	79,032	太鼓 鉦 笛 等一式 コード 音響システム一式 マイク一式
賃借料	0	0	0	0	
報償費	14,000	14,000	7,000	0	出演者謝金
印刷製本費	0	0	0	0	
計	500,312	400,000	200,000	100,312	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。  
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	ミヤ・ジャズイン事業
事業主体の名称	ミヤ・ジャズイン実行委員会
代表者の名称	ミヤ・ジャズイン実行委員会 委員長 柿沼 賢
事業主体の所在	宇都宮市中央3-1-4 (宇都宮商工会議所内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:ミヤ・ジャズインの開催を通じ、観光誘客や消費の拡大等による地域の活性化及び地域産業の振興を図るもの</p> <p>・設立年月日:2005年</p> <p>・構成員等:宇都宮商工会議所、オリオン通り曲師町商業、宇都宮オリオン通り商店街、宇都宮餃子会、宇都宮観光コンベンション協会、宇都宮市ほか</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>・開催場所の中心となる中心市街地は、電車やバスなどが行きかう交通結節点の要衝であるとともに、オフィスビルや商店街が立ち並ぶなど、本市を代表とする地域となっている。また、将来的にはLRTの通行により賑わいと高次な都市機能を備えたまちづくりに向け様々な事業を展開している。</p> <p>・商業施設の事業所数や従業員数が減少傾向にある一方で、オリオン通りにおいては週末や夜間の通行量は増加傾向にある。</p> <p>・今後、人口減少に直面することが予想される中、都市機能の集積や居住の誘導、魅力の向上など多様な主体による経済の活性化が求められている。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>本市の地域資源であるジャズを活用した集客交流事業を行うことにより、中心市街地への集客、県外から観光誘客などによる消費の拡大など、地域の活性化・地方創生の実現を図る。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>・当該年度の実施内容</p> <p>1 事業目的</p> <p>宇都宮市の地域資源であるジャズ(軽音楽)を活用した集客交流事業等を行うことにより、中心市街地への集客、消費拡大、観光誘客等を促進させ、地域産業の振興及び地域文化の向上に資することを目的とする。さらに、ジャズ音楽の楽しさ、魅力をより幅広く各世代に伝えることを使命に、ミヤ・ジャズイン2019を開催する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>ア ミヤ・ジャズイン2019事業</p> <p>(1) 集客目標:15万人(4イベント合計)</p> <p>(2) 実施日:令和元年11月2日(土)・3日(日)</p> <p>(3) 予定会場:中心市街地3会場(オリオンスクエア、オリオン通り曲師町イベント広場、オリオンACぶらざ)</p> <p>(4) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストアーティストによる演奏</li> <li>・全国から参加のアマチュアバンドによる演奏</li> <li>・宇都宮を基盤とするジャズ・ミュージシャンによる演奏</li> <li>・秋の4イベント(宇都宮餃子祭り・宮の市・3x3)関係団体との連携</li> <li>・企業協賛(目標企業数:90社、目標額:300万円)</li> </ul> <p>(5) 3x3(スリーエックススリー)との連携</p> <p>3 ミヤ・ジャズイン2019のテーマ</p> <p>今年のテーマは「夢・ドリームス」です。新しい元号&lt;令和&gt;に夢のある思いを音楽にのせて自由に奏でて頂きます。</p> <p>4 広報宣伝</p> <p>(1) ミヤ・ジャズイン公式ホームページ・ブログ、YouTubeによる動画戦略、商工会議所広報誌「天地人」、市広報うつのみや等による広報・周知。</p> <p>(2) 告知用チラシ及びポスター、プログラムを作成・配布。</p> <p>(3) 告知用動画を作成・投稿(ミヤ・ジャズイン公式ホームページ及び動画共有サイト等)</p> <p>(4) 4団体統一広報誌の作成・配布</p> <p>(5) その他関係団体との連携した情報発信</p> <p>5 「ジャズのまち宇都宮」普及啓発事業</p> <p>(1) すみだストリートジャズフェスティバル実行委員会との連携事業の実施</p> <p>(2) 宇都宮まちぜみへの参加(9月)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本施策:個性豊かな観光と交流を創出する</p> <p>指標:年間の観光入込客数</p> <p>KPI:2016年 1,483万人 ⇒ 目標 2022年 1,550万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	年度	元年度	2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
		ミヤ・ジャズイン事業	ミヤ・ジャズイン事業		ミヤ・ジャズイン事業
事業費		6,023,930	6,000,000	12,023,930	6,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)		1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000
うち県交付金		500,000	500,000	1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)		0	0	0	
うち県交付金		0	0	0	
その他主財源等	0	5,023,930	5,000,000	10,023,930	5,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光交流課 観光企画G
担当者名	大塚
電話	028-632-2437
FAX	028-632-520
E-mail	kanko@city.utsunomiya.tochigi.lip



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ミヤ・ジャズイン事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
負担金	1,199,500	参加負担金
補助金	2,000,000	宇都宮市, 商工会議所
寄附金	2,342,200	企業協賛
繰越金	474,504	前年度からの繰越金
雑入	7,726	
計	6,023,930	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	801,000			801,000	ゲスト, MCほか
委託料	2,322,180	1,000,000	500,000	1,322,180	会場設営, 音響, 照明, 警備等
広告料	1,466,362			1,466,362	チラシ, ポスター, のぼり
賃借料	514,861			514,861	ピアノレンタルなど
消耗品費	706,078			706,078	事務費など
予備費	0			0	
繰越金	213,449			213,449	
				0	
				0	
計	6,023,930	1,000,000	500,000	5,023,930	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合